

※『中日新聞』( / ( ) ~ / ( ) までの朝刊)を使用する。

※新聞は「日付けのある情報」です → 日付け記載を省略しないように!

※多面的な情報を収集すると、書き手の理解が深まり、メッセージや指導方針も明確化してきます。

※新聞の内容を大きく分ければ記事と広告になります。  
 記事の中には「報道news(客観報道)」と「評論views」があり、その中間をいくものとしては「解説」が在ります。評論には「社説」「コラム」「署名論文」等が含まれます。  
 (今回は、解説、社説、コラム、署名論文は対象外とします)

■ 教師のあなたが付ける見出し (中学生新聞に編集し直すとして)  
 (見出しは8~12文字以内がベスト)

■ 出来事の実事 (どういう事象が在るのか)

■ 社会背景 (事象を招く要因は)

■ 記事を基底に『中学生新聞』として、中学生が興味・関心を寄せる記事化に挑戦してください。その為には、更なる「調べ」や、子どもの「学習進度」把握も不可欠です。(記事の要約ではありません) 総量 約450文字

(上記を受け「~について考えさせる」とコインの裏返しに成らぬよう)

■ あなたが先生なら、記事や関連情報から得た事象の何を、具体的な指導の展開にしますか。 総量 約140文字

所属: \_\_\_\_\_ (専攻) \_\_\_\_\_ 学籍 \_\_\_\_\_ 氏名: \_\_\_\_\_